

とやまファン 倶楽部

No.36

2022



CONTENTS

リレーエッセイ 35/菓子 浩	2P
第25回とやまファン倶楽部会員交流会	3P
会員交流広場	4P
第39回「とやま賞」	5P
「夢の卵」育成事業、みらいの起業家マインド育成塾	6P
富山県からのお知らせ	7P

大河ドラマ『青天を衝け』で 描きたかった富山の先達

菓子 浩 さん



プロフィール

菓子 浩 (かし ひろし)
NHKメディア総局第3制作センター(ドラマ)
チーフ・プロデューサー

1968年富山市生まれ。
神戸大学経営学部卒業後、
1993年NHK入局。
京都放送局で報道番組や教養番組を制作。
1998年番組制作局ドラマ番組部へ異動。
以後、一貫してドラマ制作に携わる。
連続テレビ小説「芋たこなんきん」「ちりとてちん」
「風のハルカ」などの演出を経て、
2011年プロデューサーに。
連続テレビ小説「ひよっこ」「あまちゃん」や
大河ドラマ「青天を衝け」などの制作統括を務める。

昨年放送の大河ドラマ「青天を衝け」、ご覧いただけましたでしょうか？ 主人公は、実業家・渋沢栄一。91年の生涯で約500の企業と約600の社会事業を育て、日本近代経済の父とも称されています。

大河ドラマの準備は、膨大な史料との格闘から始まります。日記、手紙、系図、公文書、古地図、伝記、評論など、関連する資料を読み漁って物語の材料を集めるのです。これがかかなり大変で、崩し字であったり、漢文調や候文であったり。各分野の専門家や史学科の大学院生の力もお借りしながら資料をまとめ、脚本家の大森美香さんに渡していきます。それらのエピソードを書き込んだ年表は、最終的には240ページにも及ぶ大作となりました。

同じ人物を描くにしても、どこにスポットを当て、どのエピソードを繋いでいくのかによって全く別の物語になります。渋沢栄一は、江戸、明治、大正、昭和、と4つの時代を生き抜き、さらに、農民、尊王攘夷の志士、幕臣、明治新

政府官僚、実業家、と立場をどんどん変えていきます。それだけに、多士済々と関わりがあり、誰をドラマに登場させるのか悩みました。描けなかった人物にも魅力的な人が多く、その中には富山の先達も3人含まれています。

まず1人目は、「銀行王」安田善次郎。天保9(1838)年、富山藩の貧しい下級武士(現実には半農半商)の家に生まれ、20歳の時に商売で身を立てる志を抱いて江戸に。玩具問屋や両替商の丁稚奉公を経て、26歳の時に両替と乾物を商う安田屋を開業。「勤儉、克己」精神と金融の才覚で財を成し、安田財閥を築きました。渋沢栄一とはライバルであり協力者でもある関係で、東京瓦斯や帝国ホテルなど、多くの事業を共同で行っています。しかし、晩年は疎遠になってしまったようで、渋沢自身は安田についてそれほど多くを語っていません。

2人目は、高岡出身の科学者・高峰譲吉。嘉永7(1854)年、加賀藩の漢方医の家に生まれ、長崎や大阪の

適塾で学び、イギリス留学の後、農商務省に入りました。渋沢との出会いは、明治20(1887)年、高峰が渋沢の元を訪ねて人造肥料(化学肥料)の必要性を訴えたことに始まります。農民出身の渋沢は、農業の発展のためならと「東京人造肥料会社」を設立。しかし、化学肥料は全く売れず赤字続き、さらに工場も焼失し会社は解散寸前まで追い込まれてしまいます。渋沢は、私財をつぎ込んで経営の立て直しを図りますが、肝心の高峰は研究の道を選んで米国へ留学してしまい、2人の関係は悪化します。ところが後年、今度は高峰が渋沢を支えることになりました。

渋沢が心血を注いだ民間外交で、米国の有力者たちとの調整を担い、渋沢訪米の際の地ならしを行ったのは高峰でした。

そして最後は、浅野財閥を築いた「事業王」浅野総一郎。嘉永元(1848)年、氷見の村医者の子に生まれ、早くから商売に目覚めるもことごとく失敗。23歳の時に夜逃げ同然で上京し、「水売

り」から再び商売の手を広げていきます。渋沢との出会いも劇的です。渋沢は、自身が作った製紙会社で、石炭の陸揚げをしていた浅野に目をかけて話したいと伝えますが、「暇でないから昼は無理」とつれない返答。「夜なら」と言われて自宅まで待っていたのに、現れたのは就寝後の10時過ぎ。しかも「商売人ならまだ宵の内」と家人に言い残して帰ってしまう。そんな浅野を渋沢は信頼していたようで、セメントや炭鉱など多くの事業で浅野を支援しました。「浅野といふ人は、度胸があり時勢に先んじて事を進める」浅野の死後、渋沢はこう評しています。

今、こうして振り返ってみても、3人ともやはり魅力的で、「青天を衝け」に登場させられなかったことは残念でなりません。それにしても、激動の時代に生きた人たちは、なんと熱く、なんと強い信念を持っていたのかと感奮させられます。悠然とそびえたつ立山連峰の向こうに、富山の偉大な先達は、どんな風景を見ていたのでしょうか。



第25回 とやまファン倶楽部 会員交流会

TOYAMA FAN CLUB

開会挨拶



桑山代表世話人

知事挨拶



新田知事

会員と富山県及び会員相互の情報交流の場である「とやまファン倶楽部会員交流会」が7月15日（金）、ホテルポール麴町（東京）で約90名の会員の皆様の参加のもと、盛大に開催されました。交流会では、新入会員11名を紹介し、日本橋とやま館のPRのほか、日本橋とやま館の食事券や商品券、富山米品種「富富富」が当たるお楽しみ抽選会が行われました。

また、とやま牛ひとくちステーキや富富富にぎり寿司をはじめ、富山の新鮮な食材を使った料理や地酒を用意し、会員の皆様に富山の味を堪能していただきながら、終始和やかに皆様の話の輪が広がりました。

来賓挨拶



橘衆議院議員

来賓挨拶



山田参議院議員

乾杯



渡辺県議会議長



会場の様子



新入会員の皆様紹介



日本橋とやま館PR



お楽しみ抽選会



きとくと君記念撮影

会員交流広場

～皆様からのメッセージの一部を紹介～

今年度の会員交流会(7月15日(金)開催)のご案内にあわせて皆様からいただきましたメッセージを、当財団のホームページ「とやまファン倶楽部会員交流コーナー」(<https://www.t-hito.or.jp/zaidan/jinzai/fan/05x.html>)に掲載させていただいております。

最近、コンパクトシティーのモデルとして富山の仕事や生活が紹介されることが増えてきました。

京都でもバスの停留所は今や富山並み、フランス風ではありますが、それなりに定着してきました。益々のご展開を期待しています。

先日、横浜で開催された自動車技術の展示会で、不二越やタカギセイコーといった富山県関係の企業が出展されていて、大変心強く感じました。

今後も、富山から全国に、そして世界に羽ばたいていくことを期待します。

日本海側の日本のハブ港を開発して、東アジアの玄関とし、物流・文化の発信地になる事を期待します。

富山県立大の仕事のお手伝いをしています。非常に優れた大学に発展しています。日本全体さらには世界に向けて人材育成の強化を期待しています。

今春、立山黒部アルペンルートを観光しました。改めて、このルートが国際的にも優れた一級の観光地であることを確認しました。環境保護しつつ、もっと外国人客を誘致する方策が望まれます。

また、高岡を軸として、能登と五箇山合掌造り集落を連結するルート開発も望まれます。

映画「大コメ騒動」では、製作から公開まで、富山県の皆さまに大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

今後も「映画県とやま」のご発展を祈念しております。

「越中おわらを楽しむ会」についてはホームページのご案内しております。私も会員で、男踊りのメンバーの一人です。

先日5/31に東京富山県人会連合会の「懇親のつどい」がホテルニューオータニで開催されましたが、その際に、我々の会も踊らせて頂きました。

現在の会員も高齢化してきておりますので、会員を全体にもっと増やしたいと思っております。(地方、唄、踊り全て!!)

【連絡先】046-836-1887:福野(幹事)

大学から関西に来て大阪で就職して30余年。以前はJR大阪駅発サンダーバード(昔は雷鳥)富山行があり、大阪に居ながら電車に乗れば、富山に帰省できる!であったが、北陸新幹線開通後、金沢(和倉温泉)止まり…新幹線に乗り換えれば済むものの、近くて遠い場所を感じております。実際、他の関西人の方から「関西の奥座敷、北陸とやま」のイメージが最近薄れてきているという声も聞きます。

ぜひ、大阪を含めた関西圏での富山PRを積極的に図っていただきたく!

2年以上にわたるコロナ禍で、“ウイズコロナ”、“アフターコロナ”などの概念や言葉のもと、テレワークやテレワークとリアル勤務のバランスを考えたハイブリットワークなど、人々の働き方や生活スタイルの変化が出てきた中、新幹線で東京から約2時間の富山県は、北陸の産業拠点、経済拠点でもあり、若い世代、子育て世代の移住先として魅力的な場所であることを、ぜひ積極的にアピールして欲しい。単なる観光地ではなく、“職と住”の日本の新時代を象徴する県になれると思うので期待しています。

(公財)日本科学協会では、2013年度より科学自由研究に興味を持った高校生(中学生も状況によって対象)を大学や研究所の専門研究者にマン・ツー・マン指導(ボランティア)していただく「サイエンスメンター・プログラム」を実施しています。

指導は研究成果を高めるのではなく、科学研究の進め方の基本を教えることで、メールなどのオンラインが基本ですが必要に応じて対面指導も行います。

応募は随時可能で、書類とオンライン面談審査で採択を決めます。研究の内容が固まっていない場合には研究相談も受け付けます。

身近に該当しそうな生徒がおられたら、是非、チャレンジするように勧めてください。プログラムの詳細や過去の実績、メンターを引き受けていただいた方々などのリストなどは次のURLアドレスを参照してください。

<https://www.jss.or.jp/fukyu/mentor/>

「とやまファン倶楽部」メーリングリストのご案内

「とやまファン倶楽部」会員への情報提供や会員同士のコミュニケーションの活性化を図るため、Google グループを利用したメーリングリストを作成しています。グループの共有メールアドレスにメッセージを送信することで、各会員からもグループメンバーあてに情報を送信できます。

会員の皆様幅広くお知らせしたい情報の共有や、双方向のコミュニケーションに、ぜひ、ご活用ください!

※このメーリングリストは、登録したメンバーのみ、閲覧、返信、投稿が可能です。

参加されたい方は、事務局(☎076-444-2000、E-mail:m.sakai@t-hito.or.jp)まで、ご連絡ください。



「とやま賞」は、富山県の置県百年を記念し、富山県ならびに日本の将来を担う有為な人材の育成に資する目的をもって昭和59年に創設され、今回で39回目を迎えました。

受賞対象者は、富山県出身者、または富山県内在住者で、学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツの分野において、顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される人に対して、賞状、奨励金を贈呈して、その活動を奨励しております。

今年の贈呈式は、5月23日(月)に富山市のパレブラン高志会館で行われ、学術研究部門で3名、科学技術部門で2名の計5名の方々が受賞されました。

第39回受賞者

学術研究部門 医薬分野(整形外科、運動器病学)

大阪大学世界最先端研究機構免疫学フロンティア研究センター 特任准教授

箭原 康人 氏

「誰もが安定した運動器を維持できる社会づくりへの挑戦」



学術研究部門 理工分野(土壌生態学)

国立研究開発法人森林研究・整備機構 主任研究員

藤井 一至 氏

「植物・微生物による土壌発達・劣化機構の解明と土壌再生技術への応用」



学術研究部門 人文社会分野 (文学、アメリカ文学、日系アメリカ文学、移民研究)

富山大学教養教育院 准教授

水野 真理子 氏

「翁久允研究 ー日系アメリカ文学および富山の文化・文学の観点から」



科学技術部門 (環境分析化学)

国立研究開発法人産業技術総合研究所 研究グループ長

谷保 佐知 氏

「ペルフルオロアルキル化合物等の有害化学物質研究手法開発と国際標準規格化」



科学技術部門 (振動音響工学)

富山県立大学工学部機械システム工学科 准教授

寺島 修 氏

「高精度圧力計測技術とスマートマテリアルを利用した振動騒音制御技術の開発」



石塚選考委員長より選考経過報告



新田知事より贈呈



受賞記念講演

当倶楽部の会員の皆様などにご協力をいただきながら行った事業を紹介いたします。

「夢の卵」 育成事業

この事業では、「将来こんな職業に就きたい」という「夢の卵(将来の夢)」を作文にしてもらい、優秀作品を表彰して、その道の専門家のもとへ派遣しています。
今年度で18回を数え、小学生の部と中学生の部をあわせて1,441作品の応募がありました。その中から選ばれた4名の子どもたちに夏休み期間中、夢に一歩近づいてもらうために、短期入門してもらいました。



小学生の部 (応募数584作品)

入門内容 山里の自然を活かした水族館の学芸員になりたい
中西 瑠焯斗さん(黒部市立若栗小学校5年)

身近な里山の環境にいる生物に興味を持ち、魚津水族館に入門し、水族生物の飼育・管理や来館者に生物の魅力を伝える学芸員業務を体験しました。



入門内容 科学捜査を使って犯罪を解決できる警察官になりたい
水野 紗彩さん(富山大学教育学部附属小学校6年)

強い使命をもって犯罪に立ち向かう警察官の仕事に魅力を感じ、富山県警察本部に入門し、犯罪解決の要となる科学捜査や鑑識捜査について体験しました。



中学生の部 (応募数857作品)

入門内容 困っている人を支援できる社会福祉士になりたい
成安 志真さん(射水市立小杉中学校1年)

日常生活を送ることが困難な人たちの生活を支えるために社会福祉士になりたいと、富山国際大学とフォーレスト八尾会おわらの里に入門し、福祉の意義ややりがいについて学びました。



入門内容 昆虫の生態とその大切さを伝えられる学芸員になりたい
森山 泰成さん(富山市立芝園中学校2年)

生態系を支える昆虫の大切さを伝える学芸員になりたいと、富山市科学博物館に入門し、学芸員としての姿勢を学んだり、実際に昆虫の展示コーナーを制作したりしました。



みらいの 起業家マインド 育成塾

社会の変革期に、失敗を恐れず自分で考え行動する「生きる力」を養うためのワークショップを、7月24日(日)に開催し、小学校6年生～中学校2年生までの約60名が参加しました。

このワークショップでは、カードゲームを使って、社会や経済・お金の仕組みを楽しく学ぶことで、今までにないアイデアで新しい仕事を生み出し、チームで協力しながら問題を解決することを体験し、他者と協働しながら新しい価値を創造する力など、これからの時代を生きていくために必要な力を育みました。



経済のしくみを知ろう
経済・お金のしくみをカードゲームを使って楽しく学びます。

自分の長所を見つけよう
自分がまだ気づいていない長所や特長を見つけます。

みらいをつくるヒントをつかもう
よりよい社会との関わり方を、普段会えないような職種の方や大学生と一緒に考えます。



富山県からのお知らせ

富山県成長戦略

人口減少・少子高齢化が進む中、現下の新型コロナウイルス感染症による厳しい経済情勢を乗り越え、新しい富山県のさらなる発展に向け、「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」を成長戦略のビジョンに掲げて、令和4年2月に「富山県成長戦略」を策定しました。

～「真の幸せ」(ウェルビーイング)中心の成長戦略～

富山県成長戦略では、経済成長を通じてウェルビーイングの向上を実現するとともに、ウェルビーイングの考え方を各施策に盛り込み、経済成長につなげていく、そんな好循環を目指しています。戦略の6つの柱の取組みを通じて、①本県のウェルビーイングを向上させ、②居心地の良い街づくりを進め、③その魅力を発信することにより、人材の出入りを活性化させ、次世代の価値を産む人材が育ち、県外からも集積する。そして、④⑤本県に集積した多様な人材により新たな産業や価値を創出させ経済成長を図る。併せて、⑥県庁も大きく変革することで、県民のウェルビーイングの向上を図ることとしています。

富山県成長戦略の6つの柱

- ① 真の幸せ(ウェルビーイング)戦略
- ② まちづくり戦略
- ③ ブランディング戦略
- ④ 新産業戦略
- ⑤ スタートアップ支援戦略
- ⑥ 県庁オープン化戦略

※ウェルビーイング(well-being) : 世界保健機関(WHO)憲章の前文において、「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態(=well-being)にあること」と定義

成長戦略のビジョン

幸せ人口1000万 ～ウェルビーイング先進地域、富山～

- ▶ ウェルビーイングの向上
- ▶ 次世代の価値を産む人材育成・人材集積
- ▶ 新たな産業、新しい価値を創出する地域づくり

富山県成長戦略 しかあわせる。富山

～デジタルが可能にする、私たちのウェルビーイング～

成長戦略のビジョンの実現に向けて、県内外の方が集い議論を深める、新たな取組みづくりの場として、「しかあわせる。富山」を開催しました。

アーカイブ動画配信中!



「しかあわせる。富山」特設サイト

お問い合わせ
知事政策局成長戦略室戦略企画課
〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 県庁本館3階
TEL:076-444-8916 E-mail:aseichosenryaku@pref.toyama.lg.jp

関係人口の創出・拡大

●ワーケーションの推進

テレワークの拡大により新しい働き方や暮らし方が広まりつつある中、富山の文化や魅力を体験することで今後も関わりを持ち続けていただける関係人口を創出するため、富山県ではワーケーションを推進しております。

富山県ワーケーションポータルサイト「めぐるとやま」では、県内のワーケーション施設を始め、モデルコースの提案や体験ツアーの募集、助成金の案内等、ワーケーションに役立つ情報を発信しております。

とやまでワーケーションしてみませんか? [めぐるとやま:https://megurutoyama.jp/](https://megurutoyama.jp/)

●温故知新とやま物産展のご案内

富山県出身の偉人や自然・産業等を通じた「ふるさと」のご縁を活かし、皆さまのお勤め先・所属されている団体において、富山との「つながり」を体感できる物産展やイベントを開催しませんか?

富山県産品を各種ご用意いたします。

開催例① 会社様の食堂、会議室等を活用した物産展

(開催に関する費用は県が負担します)

開催例② 社員様向けのイントラネット等を用いた情報発信

(ご要望に応じて、掲載内容案を作成させていただきます)

お問い合わせ
知事政策局成長戦略室ウェルビーイング推進課
〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 県庁本館3階
TEL:076-444-8489 E-mail:aseichosenryaku@pref.toyama.lg.jp



めぐるとやまHP



物産展イメージ

創業支援

職住一体の拠点「SCOP TOYAMA」10/28(金)オープン!

「2017建築甲子園」で全国優勝した富山工業高校生のアイデアを元に実現した、全国でも類を見ない職住一体の新たな拠点、SCOP TOYAMAが10月28日にオープンしました。

「SCOP」という名前には、新しい仕事、新しい生活を始める人を、様々なヒト・モノ・コトにつなぐという意味が込められています。

S:Startup(スタートアップ) CO:Connect(コネクト) P:Project(プロジェクト)

SCOP TOYAMAは創業支援センター1棟と創業・移住促進住宅2棟、計3棟が合わさることにより、職住一体の新たな生活スタイルが実現できることが特徴で、「いきかた しかあわせ ほりおこせ!」というキャッチフレーズのもと、創業支援に限らず、様々なヒト・モノ・コトの集う場を目指し、富山での新しいライフスタイルの実現を応援します。

施設に関する最新の情報、利用や入居、お問い合わせは公式HPよりご確認ください。

SCOP TOYAMA
公式HPはこちら!





問合せ先

■事務局

公益財団法人 富山県ひとづくり財団

〒930-0018 富山県富山市千歳町1-5-1 富山県教育記念館2階

TEL076-444-2000 / FAX076-444-2001

E-mail:toyama@t-hito.or.jp <https://www.t-hito.or.jp/zaidan/index.html>



■連絡所

富山県知事政策局成長戦略室

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7

TEL076-444-8489 / FAX076-444-3473

富山県首都圏本部

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階

TEL03-5212-9030 / FAX03-5212-9029

富山県大阪事務所

〒550-0004 大阪府大阪市西区鞆本町1-9-15 近畿富山会館3階

TEL06-6445-2811 / FAX06-6445-2611

富山県名古屋事務所

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル3階

TEL052-261-4237 / FAX052-263-7308

賛助会員の募集

ひとづくり財団からのお知らせ

当財団では、学校教育との連携を図りながら元気で創造性豊かな子どもの育成をはじめ、明日の富山県を拓くひとづくりの事業に鋭意取り組んでおります。これらの趣旨にご理解いただき、ご支援、ご協力いただける賛助会員を下記のとおり募集しております。

多くの皆様のご賛同、ご入会をよろしくお願いいたします。



■年会費：法人会員 年一口 30,000円

個人会員 年一口 3,000円

■特典：機関誌の配布、イベント等の開催案内、各種報告書等の配布

■申込方法：入会いただける方は、財団へご連絡ください。

(☎076-444-2000、E-mail:toyama@t-hito.or.jp)